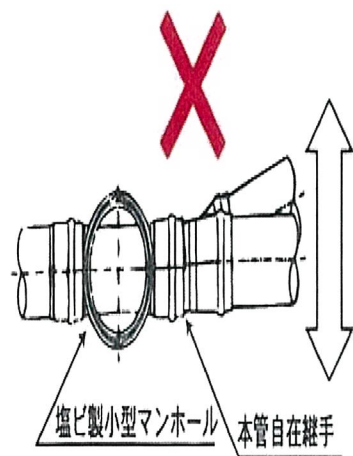


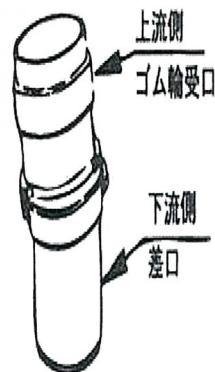
取扱注意

- 注1 角度調整は、自在回転部を回転させて行って下さい。
2. 下図のような自在回転部への無理曲げは行わないで下さい。



本管自在継手 PMF

段差・溜りのできない自在継手



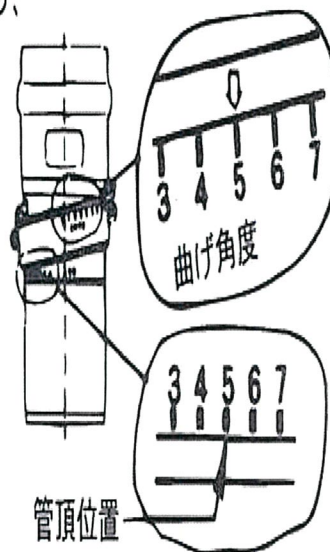
上流側と下流側を相互に回転させることにより、
曲げ角度は0～15°まで調整できます。

【角度の合わせ方】

曲げ角度の目盛りと矢印↓を合わせます。
その時、曲げ角度と同じ数字の管頂目盛の箇所が管頂となります。

回転させる場合は突起部にドライバー又は鉄棒（約8mm）等を差し込み回転させます。

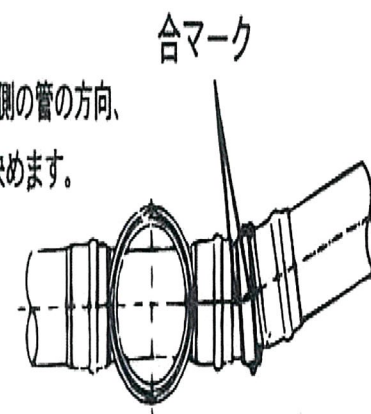
（例）曲げ角度5°の場合



施工手順

① 角度と位置決め

ゴム輪をはずし、仮置きをし、上流側の管の方向、勾配を確認し、自在継手の角度を決めます。
その時自在継手の管頂部に合マークを付けておきます。



② 接合

自在継手を接合しやすくするため、一旦ストレートの状態に戻し、ゴム輪を正しく装着します。
ゴム輪部と差し口面取り部に滑剤を塗布し、挿入します。

③ 角度調整

仮置き時に付けた合マークに合わせ、上流側の管の方向と勾配を確認します。